



平成 30 年度修士卒 石井康太 さん



『形のない理解から形を持った理解へ』

Q1： この学科に入学した理由は何ですか？

高校で学んだ中で 1 番興味を惹かれたのが物理でした。その理由は普段身の回りで起きている様々な現象を式で表すことで、今まで形がなく理解(=なんとなく理解)していたものが形を持った理解(=深い理解)になっていくことが楽しかったからです。そんな物理をさらに学べ、また家から通えるということもあってこの学科を選びました。

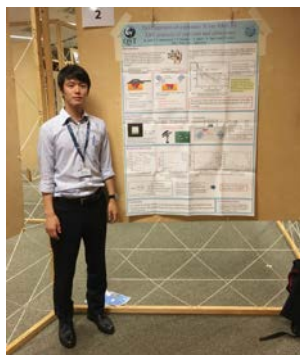
Q2： 現在はどのような仕事をしていますか？

現在は日本電子株式会社で半導体製造装置の開発をしています。具体的な仕事内容は基礎的なデータをとって装置の性能を評価したり、求められる性能を達成できるような技術を開発したりすることです。半導体機器というのはスマートフォンやテレビなどあらゆる電子機器に使われており、半導体製造装置の性能向上は我々の生活がより豊かになるために不可欠と言っても過言ではありません。豊かな未来を築くために、責任を持って自分の仕事をすることを心がけています。



Q3： 在学中、印象に残っている授業や研究はありますか？

大学の授業で印象に残っているのは物理学実験です。この理由は、高校では授業がメインでほとんど実験ができなかったからです。その中でも特に印象に残っているのが大学 3 年生の時にに行った質量分析というテーマの実験です。このテーマでは実験をするだけではなく原理や実験結果をまとめてグループのメンバーや先生の前で発表をしました。当時はすごく緊張しましたが、今となっては理解が深まる良い授業だったと感じています。



大学 4 年から修士 2 年までの 3 年間の研究テーマは傷口に付いたウランやプルトニウムの分析法の開発です。修士 2 年の時に国際学会でポスター発表したこと、その発表内容を英語で論文にしたことは社会人になった今でも誇りであり、自信になっています。

Q4： 最後に、後輩に向けて一言

勉強だけでなく自分の好きなことややりたいことをたくさんやった方がいいと思います。私はアルバイトを頑張りました。お金を稼ぐ大変さを知れたり価値観の違う人がいること肌で感じたり、学生のうちに社会を知ることができる良い経験だったと思います。